



旭中中学校だより

＜学校の教育目標＞

- 学び続ける生徒
- 思いやりのある生徒
- やりぬく生徒
- たくましい生徒

「旭中祭」に思いを馳せる

校長 久 米 達 夫

9月も終わりを迎え、令和7年度も半分が過ぎようとしています。過ごしやすい時期もあったという間を通り過ぎ、朝晩の冷え込みに季節の変わり目を感じます。冬への備えをしなければ…。

8月25日の始業式の日から、本校の卒業生が教育実習生として着任し、先日研究授業を終了し、3週間の実習を終えました。その離任式で、実習生から「この学校で実習することができて、幸せでした。」という言葉いただきました。実習生自身の頑張りはもちろんですが、その実習を支えてきたのは、生徒の皆さんです。2年A組で実習生の研究授業を観させていただきましたが、授業を盛り上げるために、生徒の皆さんがしっかり話を聞き、反応するなど協力的な様子を見ることができました。授業以外でも実習生との積極的なふれあいを通して、互いの信頼関係を結ぶことができたのだと考えます。涌井さんの言葉から、「旭中生の皆さんには人を幸せにする力がある」と確信することができました。これからも人と人との繋がりを大切にすることで、生徒たちと「互いに認め合い、高め合う力」をつけて行きたいと考えました。

さて、10月3日(金)旭中最大の行事である「旭中祭」が実施されます。今年も、活動は1～3年の「縦割り班」に分かれて制作・創作活動を行っております。その準備も3年生がリーダーシップをとって熱心に活動する姿が見られ好ましいと感じております。また、クラスごとの合唱練習も日を追うごとに熱を帯びてきております。活動は合唱委員会が中心となり進めております。当日はコンクール形式で合唱を行うのですが、「〇年生には負けない!」「絶対最優秀賞をとる!」ということよりも、「自分たちがどのような合唱をしたいのか」という視点で目標を再確認し、自分たちが目指す合唱を追求して、「自分たちで考え」「自分たちで創り上げる」合唱を期待しております。「やらされている」のではなく、一人一人が「自分事」として考え行動していくことが大切であると考えています。当日、それぞれの学級の思いが込められた素敵な合唱を聴けることを期待しております。

保護者・地域の皆様には、当日多くの方にご来場いただき、生徒たちの活躍を観ていただければと思います。そして、旭中の生徒たちが学校祭後も、自信をもって学校生活や家庭生活を送っていけるよう、生徒たちの頑張りに対して、温かい励ましの言葉をかけていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

旭中祭、そのあと1年生は見学旅行、2年生は職場体験学習など大きな行事が続き、気もそぞろになってしまう時期ではありますが、普段の学校生活も大切にしていってほしいと思います。中学校生活は、3年生は残り半年、そして、2年生は中学校生活の半分を終えようとしております。中学校卒業後の自分について考え、目標を見定めて、できることにできるだけ取り組んでほしいです。

最後になりますが、保護者・地域の皆様におかれましては、これまでいろいろな場面でご協力をいただき、誠にありがとうございます。改めまして、今年度の学校の重点である「互いに認め合い 高め合う」生徒の育成のため、これからも家庭と地域、そして学校が手を取り合って進んでいきたいと存じます。どうぞよろしくお願いします。